

学校 教育 目標	「自ら学び 人とかがわり 創り出す子」を育てます ○一人一人が、自分で課題を発見し追求し表現する学びを大切に育てます(知・生きてはたらく知) ○進んで人とかがわりの中で、自分や友達を大切に、相手の立場や気持ちを思いやる子を育てます(徳・豊かな心) ○心と体を鍛え、自分や人の命を大切にしたい子を育てます(体・健やかな体) ○児童会活動や委員会活動を中心に、人のためになる活動を喜んで創り出し、進んで行動できる子を育てます(公・公共心と社会参画) ○友達・自然・地域などと積極的にかがわりを通して、新しいものを創り出そうとする子を育てます(開・未来を拓く志)				
	学校 概要	創立 68 周年	学校長 南部 礼子	副校長 金子 博美	2 学期制
児童生徒数: 1002 人		主な関係校: 舞岡中学校、舞岡小学校、柏尾小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力	舞岡中学校 舞岡小学校 柏尾小学校	主体的な学びを通して、地域を愛し、命、心、夢を大切に成長することも  ○アクティブラーニングを積極的に展開し、小中が連携して主体的な学びを推進する。 ・地域行事に積極的に参加・交流することで、そのよさを理解し地域愛を育成する。 ・命の大切さを理解することのできる学びを、人権教育・安全教育から推進する。 ○思いやりの心を育てる学びを、道徳教育と小中合同授業研修と連携して推進する。 ・夢を実現するための学びを、小中一貫すべての教育活動から推進する。

中期 取組 目標	○自ら考え、様々な人とかがわりを通して、創ることに本気になる教育活動に取り組む学校にします。 ・自ら考え、協働して問題解決に取り組む授業づくりを追究し、学力の向上につなげます。 ・一人一人に大切な存在としてかがわり、互いを思い合い認め合う自尊感情を育てます。 ・人権教育・安全教育に取り組み、命の大切さを理解して、健やかな心と体を育てます。 ・児童会活動を推進して、よりよい学校生活のための活動を進んで創る力を育てます。 ・まちの人とのかがわりを意識し、体験を通して、まちを愛する心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	「主体的に学び合い、考えを広げる子ども」を目指して、国語科を核にして授業研究を進める。①身に付ける資質・能力を明確にする②子どもの思いを生かした課題を設定する③学びの過程を大切にするの3つの視点で、全教職員が授業改善に取り組む。
担当 教育課程・評価部	
豊かな心	①交流オリエンテーリングや仲良しロングなどのたてわり活動を充実させ、異学年同士のつながりを築く。②道徳の時間を充実させ、自分の生活について振り返る活動を積み重ねることで自己肯定感を高め、周りの人とよりよくかがわりようとする心情を育てる。
担当 道徳部・人権・福祉・児童指導部	
健やかな体	①自ら課題を設定し、見合いや教え合いを通して課題を解決することで、「わかる・できる」体育学習を目指す。②自己の健康のために、「姿勢体操」や「姿勢集会」を取り入れ、正しい姿勢を意識して生活しようとする態度を育てる。
担当 体育部、保健部	
児童指導	①児童の指導・育成にかがわる情報を職員間で共有し、組織的に対応する。②幼保小中と連携し、よりよい教育環境の整備を図る。③安心・安全な学校生活のためのきまりを保護者とも共有し、家庭と連携しながらルールやマナーなどを理解・順守する気持ちと力を育む。
担当 人権・福祉・児童指導部	
キャリア教育	①代表委員会を通しての活動作りを丁寧に行い、全児童の参画意識を高めるとともに、よりよい学校生活をつくるために、進んで課題を解決していこうとする社会性の基礎を育成していく。②異学年の交流活動を通して、高学年のリーダーシップを育てるとともに、互いのよさを生かして活動しようとする態度を育てる。
担当 特活部	
特別支援教育	①児童一人ひとりの困り感に寄り添い、保護者と連携しながら、アセスメントの実施や適切な支援を組織的に行っていくようにする。②特別支援的な見方や具体的な支援の仕方について、研修等を行い、職員のスキルアップを図っていくようにする。
担当 特別支援教育コーディネーター	
担当	
担当	
いじめへの対応	①いじめの未然防止・早期発見に努め、いじめ防止対策委員会を中心とした組織で対応する。②育てたい力を明確にした「特別の教科 道徳」の実施や、日常的な児童指導において、社会のルール・マナーを守る気持ちや相手の気持ちを考えながらかがわりを創っていく力を育てる。
担当 人権・福祉・児童指導部	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①キャリアステージに応じた力の向上のために、メンター、ミドルリーダー、主幹・育成チームを組織して、研究・研修会を開催する。②学年組織の円滑な機能のために、高学年に一部教科担任制を取り入れる。③グループウェア活用による情報の共有化、HP活用による情報発信とともに、効率化を図り、働き方改革につなげる。
担当 教務部	